

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 企画担当課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	物流動向の調査			連絡先	052-654-7906	
目的	対象(誰・何を)	名古屋港をとりまく物流動向			事業期間	～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	調査研究し、港湾経営の検討に係る基礎資料として活用します。				
概要	名古屋港の今後の港湾経営を検討する上で必要となる社会経済情勢や物流動向について、港湾統計データやインターネット、新聞等により情報収集を行い、調査研究します。			根拠法令等		
令和元年度の実施予定	港湾統計データ等を活用し、本港を取り巻く経済・物流動向調査を実施します。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	名古屋港の港湾統計データの分析や、完成自動車、自動車部品、産業機械、アルミニウム等に関する物流動向について調査研究を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	627	537	116	427	
人件費	千円	13,785	13,829	9,174	12,263	
合計	千円	14,412	14,366	9,290	12,689	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
物流動向調査ととりまとめ回数(回)	目標	2	2	2	2		本港の今後の港湾経営を検討する上で必要となる社会経済情勢や物流動向について、とりまとめを行う回数を設定しています。	
	実績	2	2	2				
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおし 目標値を下回る		
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	統計データの分析等により、社会経済情勢や物流動向の調査研究を進め、とりまとめました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	経済や物流動向を把握することは、名古屋港の今後の港湾経営を検討する上で必要です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	調査研究結果は、港湾経営の検討に活用できるよう関係部署で共有しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	インターネットや新聞等の情報を活用して多岐に亘る話題を効果的に調査研究しています。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	今後の港湾経営を検討する基礎資料として、物流動向等を適切に把握する必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
港湾を取り巻く環境変化や背後圏企業のニーズに対応するため、幅広く情報収集する必要があります。			引き続き、港湾統計データの分析や、経済社会情勢、港湾を取り巻く環境変化を注視するなど物流動向について調査研究していきます。